



## 寄付金募集趣意書

本学は 2002 年 4 月に単科の看護大学として開学し、質の高い看護人材：看護師・保健師・助産師を養成してきました。建学の精神に「ゆうゆう・くらしづくり」を掲げ、健康の面から県民の暮らしづくりに貢献し、地域の方々との交流から地域とともに発展する大学の校風を築いてまいりました。

2022 年には創立 20 周年を迎え、開学以来 1,586 名の卒業生、117 名の大学院修了生を輩出し、卒業生・修了生たちは、新潟県をはじめ全国で活躍しています。

新型コロナウイルス感染症の発生から 2 年経ちましたが、猛威は未だ衰えません。コロナ禍は保健・医療体制の脆弱な部分を社会に知らしめ、看護職をはじめとする医療、介護や保育人材の重要性を浮き彫りにしました。本来、看護職は患者や地域住民の身近にいて、命を助け、健康な暮らしを支え、誕生・出産、病気やケガ、死を迎えるひとの人生に寄り添って支える、世の中になくてはならない価値ある専門職です。感染症と戦う困難な時代にあって、人々の希望の光となるべく、看護専門職を目指す学生の修学とキャンパスライフを教職員一丸となって支援していく所存です。

このたびの創立 20 周年に当たり、より高度で柔軟な教育活動を展開するため、寄付金募集を行うことといたしました。

大変厳しい経済情勢の中ではありますが、本学のさらなる発展のため、本学の教育理念にご理解をいただき、学生のための施設及び教育環境の整備等の資金について皆様のご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2022 年 9 月

公立大学法人新潟県立看護大学

理事長 小泉 美佐子

